

鳥取県の「教育に関する大綱」の改訂素案(体系図)

資料1-2

社会状況の変化

○少子高齢化の進展と若者の転出超過

- ・本県の推計人口(H30.3月公表・国立社会保障・人口問題研究所)
総人口:57.3万人(2015年)→47.2万人(2040年) ▲10.1万人
15歳未満:7.4万人(2015年)→5.4万人(2040年) ▲2.0万人
- ・本県における10代・20代の転出超過数の増加
▲1,524人(H27) → ▲1,298人(H28) → ▲1,315人(H29)

○OAIやIoT等の技術革新による高度情報化の進展

- ・「新しい経済政策パッケージ」(H29.12月閣議決定)では、2020年までの3年間を生産性革命・集中投資期間とし、「Society 5.0」の実現に向けた取組を推進。(未来投資戦略2018)
- ・今後10～20年後、現在の職業の約半分がロボット等により代替可能との予測
(2013年オックスフォード大学)

○出入国管理法の改正による在留外国人の増加

- ・深刻化する人手不足へ対応するため、特定産業分野(介護や建設、農業等 14業種)において、一定の専門性・技能を有する外国人労働者を受入(2019年度からの5年間:最大345,150人(上限))
- 【参考】県内在住外国人数(平成30年1月1日現在)
4,329人(中国 1,021人、韓国・朝鮮 1,014人、ベトナム 818人、フィリピン 559人ほか)
県内外国人児童生徒数[小・中学校](平成30年5月1日現在) 81人

本県教育の現状・課題等

○全国学力・学習状況調査は複数教科で全国平均を下回る

- ・H30年度全国平均を下回った教科 (小学校)算数A、算数B (中学校)国語B、数学B

○子どもたちの地域や社会に対する関心が低い

- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある(H30学テ質問紙回答)
(小学校)鳥取県46.5%、全国49.9% (中学校)鳥取県37.2%、全国38.7%

○いじめ・不登校・暴力行為の増加

- いじめ認知件数:594件(H28年度)→844件(H29年度) 特に小・中で増加
不登校出現率(H29年度):小学校0.56<全国0.54> 中学校3.10<全国3.25> 高校1.90<全国1.51>
暴力行為の発生件数:289件(H28年度)→421件(H29年度) 小・中で増加

○国の教育改革

- ・「大学入学共通テスト」スタート(H32年度～)。現在の高校1年生が受験)
- ・学習指導要領改訂の全面実施(小学校H32年度、中学校H33年度、高校H34年度)
※小学校では、3・4年で外国語活動、5・6年で英語教科化。プログラミング教育実施

【改訂教育大綱(案)】中期的な取組方針(5つの柱)・重点取組施策

1 学ぶ意欲を高める学校教育の推進 ～全国に誇れる学力を目指す学びの向上～	2 【新】「ふるさと」鳥取を支える「人財」の育成 ～郷土への愛着と誇りを醸成するふるさと教育の推進～	3 【拡】時代や社会の変化に対応できる教育環境の充実 ～時代の変化に対応し、安全・安心に学べる教育環境づくり～	4 一人一人のニーズに対応した特別支援教育の充実 ～個々の障がいの種類や程度に応じた教育の提供～
①【拡】県立高校の在り方検討 ○生徒数減少に伴う抜本的な在り方検討 ○魅力づくり・特色ある取組の推進 ○県外生徒の受入れ促進	①学校、家庭、地域の連携・協働の推進 ○学校・家庭・地域の連携・協働体制の構築 ○コミュニティ・スクールの導入促進	①いじめ防止等への取組の充実 ○いじめの早期発見・未然防止 ○学校・家庭・地域の連携による人権教育	①障がい児への支援体制の充実 ○就学前から就労までの切れ目ない支援 ○特別支援学校の専門性強化
②幼保小連携や小中高における連続性のある教育の推進 ○幼保小連携による円滑な接続 ○小中高を見通した教科指導体制の充実	②【拡】ふるさと教育の推進 ○小学校～高校の各段階を通じた取組推進(県版ふるさと副読本作成など) ○地域や企業等と連携した体験・探究学習	②【拡】安心して学べる学校教育の推進 ○SC、SSWの増員、連携強化 ○外国人児童生徒の教育の充実 ○不登校生徒等へのアウトリーチ支援	②発達障がいのある児童生徒への支援の充実 ○早期からの一人一人に応じた指導・支援 ○小・中の通級指導体制の充実 ○高校の通級指導教室の設置促進
③【拡】授業改革の推進 ○教科横断的なカリキュラムづくりなど学校全体の組織的・計画的な授業改善 ○少人数方式の探究型学習や共同研究など鳥取県独自の学びの改革	③家庭教育の充実 ○家庭教育支援員等との連携強化 ○訪問型家庭教育支援の促進	③【拡】多様な学びの機会の確保 ○夜間中学等に係る調査研究 ○地域未来塾など市町村の学習環境整備への支援 ○フリースクールへの運営支援	③【拡】医療的ケアの必要な児童生徒への支援体制の充実 ○病気療養児への遠隔教育の推進 ○常勤看護師の配置推進 ○放課後子ども教室への看護師配置
④【拡】学力向上策の推進 ○全国学力・学習状況調査結果を踏まえた家庭・地域と連携した取組 ○地域課題を踏まえた学習教材の充実 ○市町村教委と連携した圏域ごとの取組	④社会教育の推進 ○公民館職員等の資質向上 ○地域活動やボランティア活動の促進	④子どもが成長する安全・安心な居場所づくり ○子どもの居場所づくりへの支援	④特別支援教育と障がいのある子どもの理解・啓発 ○教職員、保護者、地域への広報活動、研修の実施
⑤高大接続改革への対応 ○大学入学者選抜改革への対応	⑤自然体験活動等の推進 ○青少年社会教育施設の取組推進 ○自然体験活動の促進	⑤【拡】電子メディア機器との適切な接し方の教育啓発の推進 ○インターネット依存等の予防対策 ○情報モラル教育の充実	⑤手話教育の推進 ○教職員の手話技術の向上 ○小・中・高校での手話学習の充実
⑥【拡】ICT活用教育の推進 ○プログラミング教育の推進 ○管理職や教員等への研修 ○ICT機器整備、デジタル教材の導入	⑥キャリア教育の充実 ○小学校から高校を通じたキャリア教育の推進 ○普通科高校におけるインターンシップ ○農林水産分野における長期インターンシップ	⑥学校における働き方改革 ○学校業務カイゼン活動の推進 ○授業準備等サポートスタッフの配置 ○部活動指導員の増員 ○校務支援システムの活用	⑥特別支援学校生徒の職場定着の推進 ○就労移行支援、就職後のフォローアップの強化
⑦教員の指導力の向上 ○計画的研修による若手教員の育成 ○エキスパート教員を活用した授業力向上	⑦県内企業情報の確実な提供 ○「とっとり就活ナビ(とりナビ)」の登録促進 ○本県出身学生への県内企業情報の発信	⑦安全教育の推進 ○登下校・校内事故防止に向けた学校の危機管理体制の充実 ○交通安全教育の充実	5 スポーツ・文化芸術の振興 ～スポーツ・文化芸術に親しむ環境づくり・人財育成～
⑧【拡】グローバル化に対応した英語教育の推進 ○小・中・高一貫した英語教育の推進 ○家庭での英語学習の充実 ○実践的な研修等による教員の指導力向上 ○英語キャンプなど英語使用機会の充実	⑧地域との連携による学校の防災力強化 ○学校の防災教育の充実 ○避難所となる学校施設の環境整備	⑧学校施設の質的向上 ○長寿命化改修の推進 ○空調設備の更新、トイレ洋式化の推進	①運動遊びや体育学習、スポーツに親しむ機会の充実 ○地域人材を活用した運動機会の充実 ○誰もがスポーツを楽しめる環境づくり
⑨【拡】科学・ものづくり教育の推進 ○産官学連携による知財創造教育の推進 ○科学に触れる機会の提供 ○教員の理数教科の指導力向上	⑨学校施設の質的向上 ○長寿命化改修の推進 ○空調設備の更新、トイレ洋式化の推進	⑨【拡】主権者・消費者教育の推進 ○消費生活センター等と連携した消費者教育の推進 ○模擬投票など主権者教育の推進	②【拡】運動部活動の充実 ○拠点校における合同部活動等の推進 ○地域、競技種目に応じた多様な運動機会の確保
⑩学ぶ意欲が高まる教育の推進 ○学習意欲や夢の実現に向けた意欲を高めるための仕掛けづくり	⑩健康教育、食育及び規則正しい生活習慣の推進 ○がん教育など健康教育の推進 ○規則正しい生活習慣の形成	⑩【拡】主権者・消費者教育の推進 ○消費生活センター等と連携した消費者教育の推進 ○模擬投票など主権者教育の推進	③トップアスリートの育成 ○東京オリ・パラに向けた選手強化 ○トップアスリートと触れ合う機会の創出 ○指導者の体制の充実
⑪土曜授業等の取組の推進 ○県立高校での取組推進 ○公立小・中学校、学校法人の取組支援	⑪健康教育、食育及び規則正しい生活習慣の推進 ○がん教育など健康教育の推進 ○規則正しい生活習慣の形成	⑪県民の期待と信頼に応える教育現場の実現 ○教育現場のコンプライアンスの一層の確立 ○働きやすい職場環境づくり	④文化芸術の振興 ○演劇公演に触れる機会など子どもたちの創造性を育む取組推進 ○特別支援学校の文化芸術活動の推進 ○健全者と障がい者との交流・共同学習

※○印の赤字部分は、取組予定又は現在検討中の取組